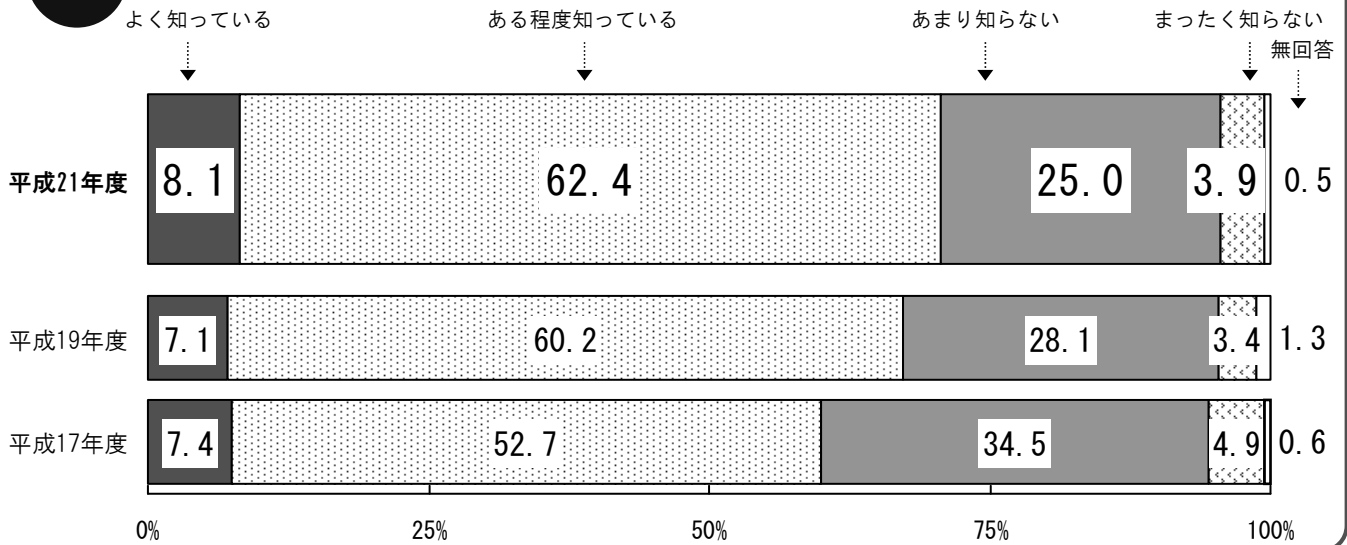




# 東海地域では、近い将来、大きな地震の発生が想定されています。 東海地震の発生の仕組みを知っていますか？



東海地震が発生する仕組み（メカニズム）を知っていますか。

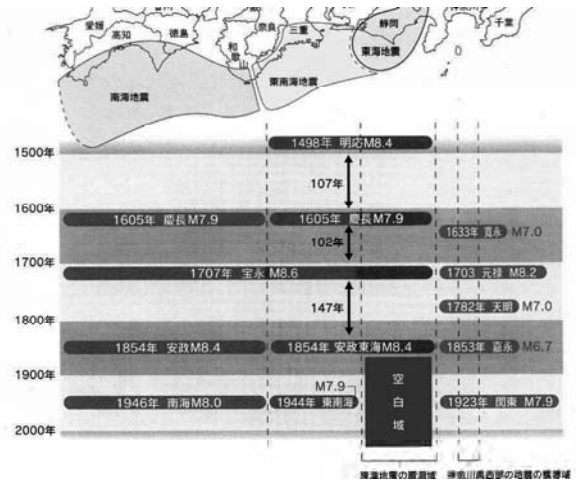


## 周期的に起こる地震

日本列島の太平洋岸では、プレートの潜り込みによる地震が一定の周期で繰り返し起こっています。特にフィリピン海プレートが潜り込む東海から四国にかけての海域では、100年から150年の周期で、ほぼ同じ場所で、ほぼ同じ規模の大地震が繰り返し起こっています。

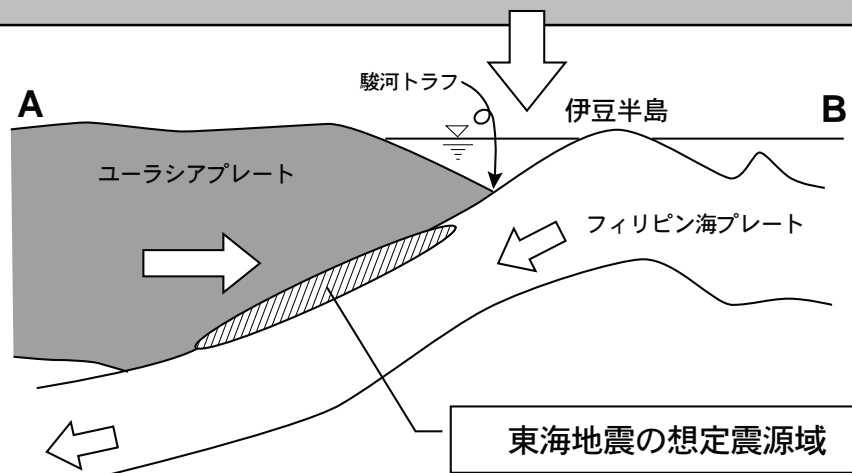
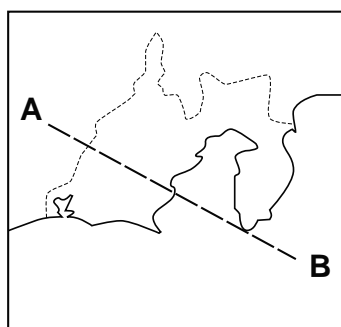
しかし、駿河湾から御前崎沖ではいまだ地震が発生しておらず、地震のエネルギーが蓄積されていると考えられており、地震活動の空白域とよばれ、近い将来、巨大地震の発生が予想されているのです。

## 地震活動の空白域



大地のひずみが  
たまり、破壊されると地震が起こる

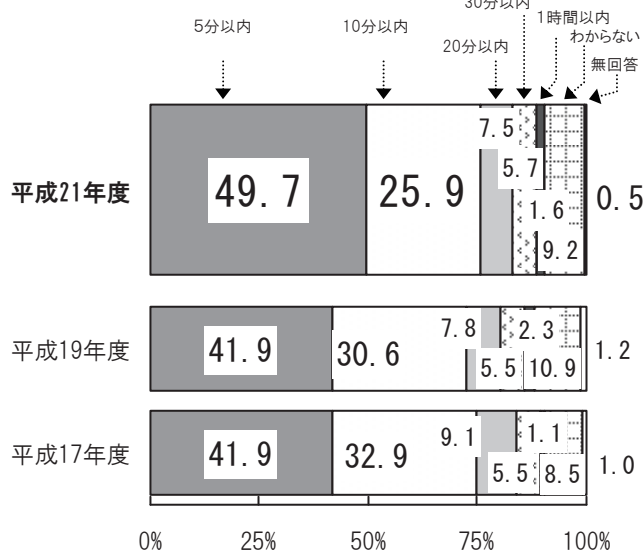
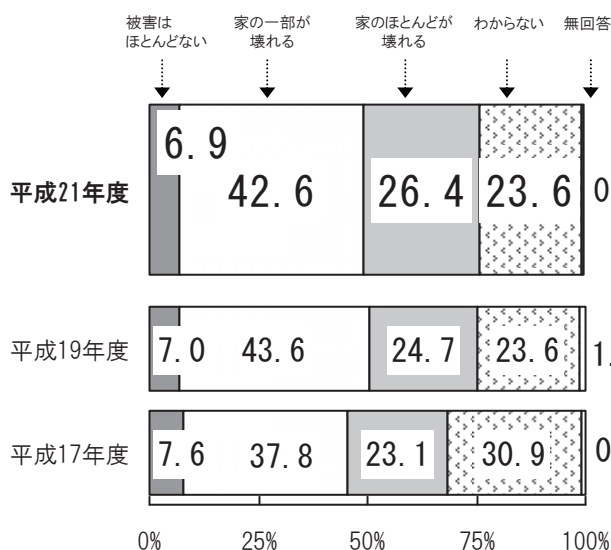
地震は、地下の一部分に大きな力がはたらいて大地がひずみ、その岩石の強さでは耐えきれなくなったとき、急にその部分が破壊されて起こると考えられています。駿河トラフといわれる大地のくぼみでは、伊豆半島を乗せたフィリピン海プレートが潜り込むときに、静岡県の中・西部地域などを乗せたユーラシアプレートを引きずり込んでいます。そのため、この付近で大地のひずみがどんどんたまり、このひずみが限界に達して、大地が破壊されて跳ね上がったときに大地震が起こると考えられています。



# 東海地震が発生した場合は、阪神・淡路大震災を上回る大きな被害と津波による被害が予想されます。

**Q** 東海地震が起きた場合、お住まいの家はどのような被害を受けるとお思いますか。

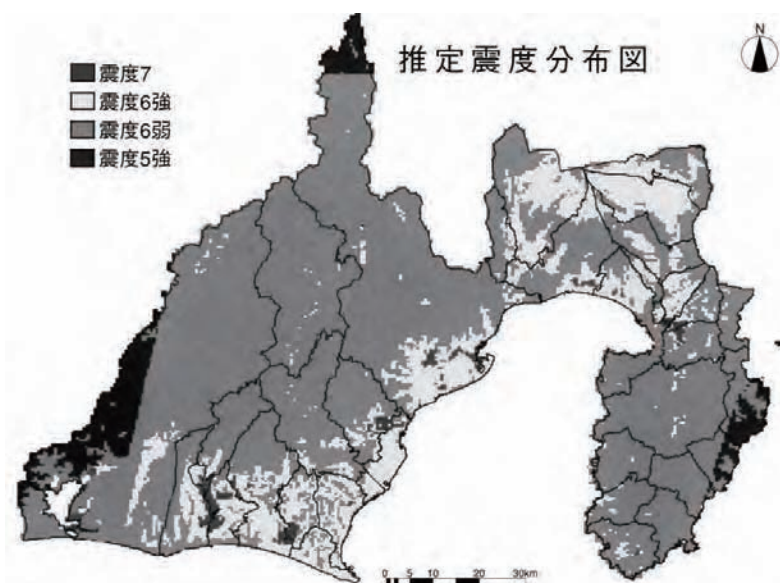
**Q** 駿河湾内で東海地震が発生した場合、津波は、一番早いところでは地震発生後どのくらいの時間で沿岸に来るとお思いますか。



東海地震が発生した場合、駿河湾や遠州灘の沿岸では、早いところで地震直後に津波が襲来します。津波の速さは海の深い所ではジェット機や新幹線並みです。

## ● 推定震度分布図

静岡県では、より効果的な地震対策を進めるため、東海地震の被害想定を行っています。予想される東海地震では、埋立地や地盤の軟弱な地域を中心に震度6強～7になり、激しい揺れが1分程度続くほか、地域によっては液状化の発生や津波の襲来が予想されます。また、古い木造住宅の倒壊などによって甚大な被害が出る恐れがあります。



あなたのお宅やその周辺では、どのような被害が想定されるかご存知ですか？

## ● 第3次地震被害想定

建物被害（被害が最大となる冬18時）			人的被害（被害が最大となる冬の朝5時）		
被害区分	予知なし	予知あり	被害区分	予知なし	予知あり
大破	192,450棟	140,801棟	死者	5,851人	1,470人
中破	294,846棟	309,174棟	重傷者	18,654人	3,122人
一部損壊	279,433棟	291,890棟	中等傷者	85,651人	17,634人
床下浸水	6,945棟	7,041棟			
計	773,673棟	748,907棟	計	110,156人	22,226人

注 小数点処理による四捨五入の関係で合計値が合わない場合があります。

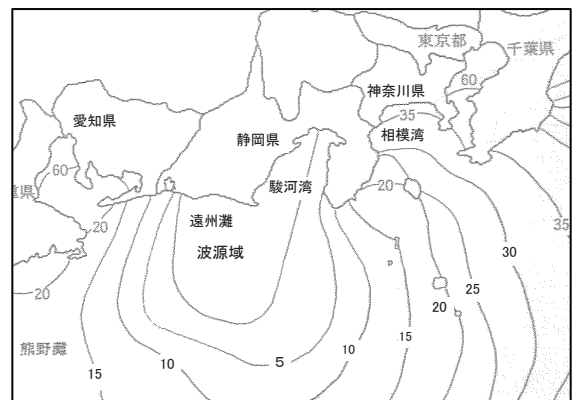
大破…倒壊したり、復旧が困難な建物  
中破…柱や基礎などに被害があり、  
復旧に大修理が必要な建物

死者…地震発生から24時間以内に死亡する者  
重傷者…手術などの入院治療が必要な者  
中等傷者…入院は不要だが医師の治療が必要な者

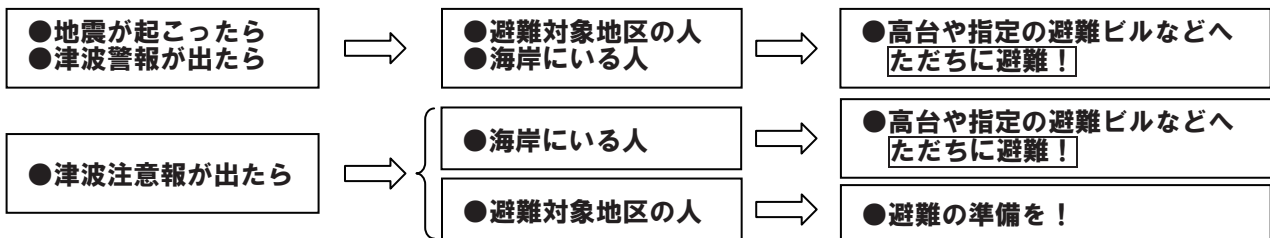
## ● 津波の到達時間

波源域の広がる駿河湾内を中心に津波が発生し、駿河湾や遠州灘の沿岸では直後～5分程度、伊豆半島南部の下田あたりで10～15分程度、伊豆半島東部の伊東・熱海で30分程度で第1波が到達します。

津波は第1波、第2波、第3波と繰り返し襲ってきますが、必ずしも第1波が最大とは限らず、場所によっては第1波より第2波、第3波が高い場合があります、少なくとも12時間の警戒が必要です。



想定東海地震津波の第1波予想到達時間（分）  
（第1波：東海地震発生後の±5cmの水位変動）



## ● 東海地震の被害想定と阪神・淡路大震災の被害との比較

項目	阪神・淡路大震災	東海地震被害想定(予知なし)	比較
地域の人口	約547万人（兵庫県）	約374万人（静岡県内）	0.7倍
マグニチュード	7.3	8程度	約10倍
震度7の区域	約30km <sup>2</sup>	約131km <sup>2</sup>	4.4倍
人的被害（死者、重・中等傷者）	約5万人	約11万人	2.2倍
建物被害（大破・中破）	約24万9千棟	約49万棟	1.9倍
津波被害	なし	あり（死者約220人）	—

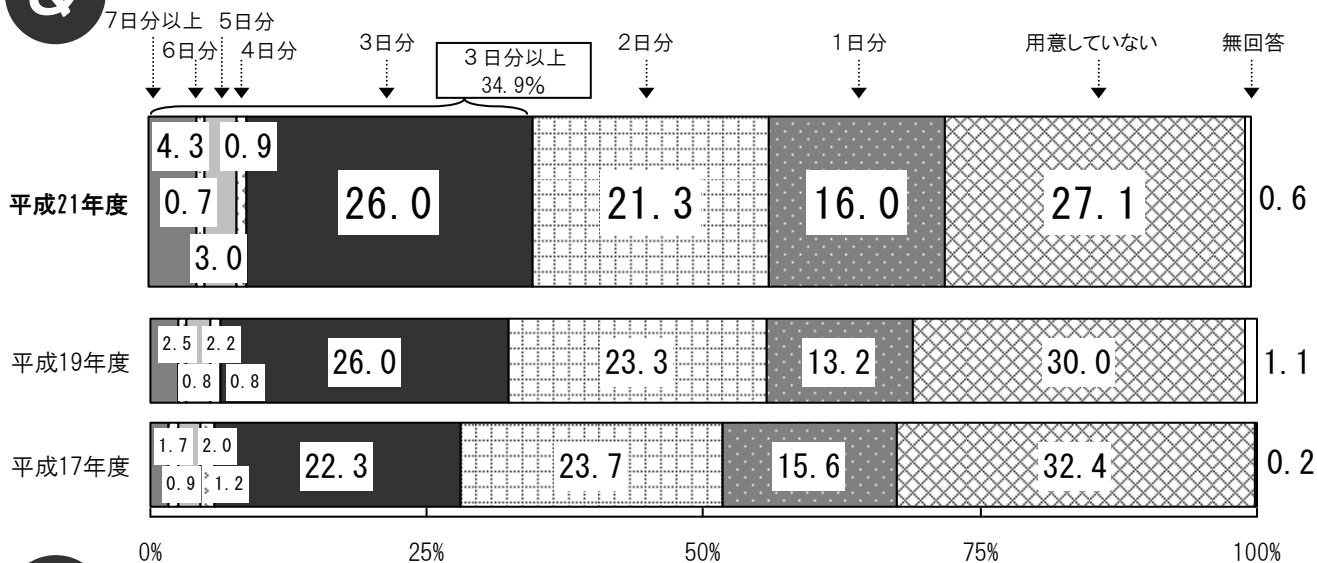
※ 阪神・淡路大震災における被害の数字は消防庁災害対策本部資料より

**県では、想定結果をホームページで公開しています。**  
**あなたのお宅やその周辺の被害想定をホームページで確認してみてください。**  
**（ホームページアドレス <http://bousai-shizuoka.jp/index.htm>）**

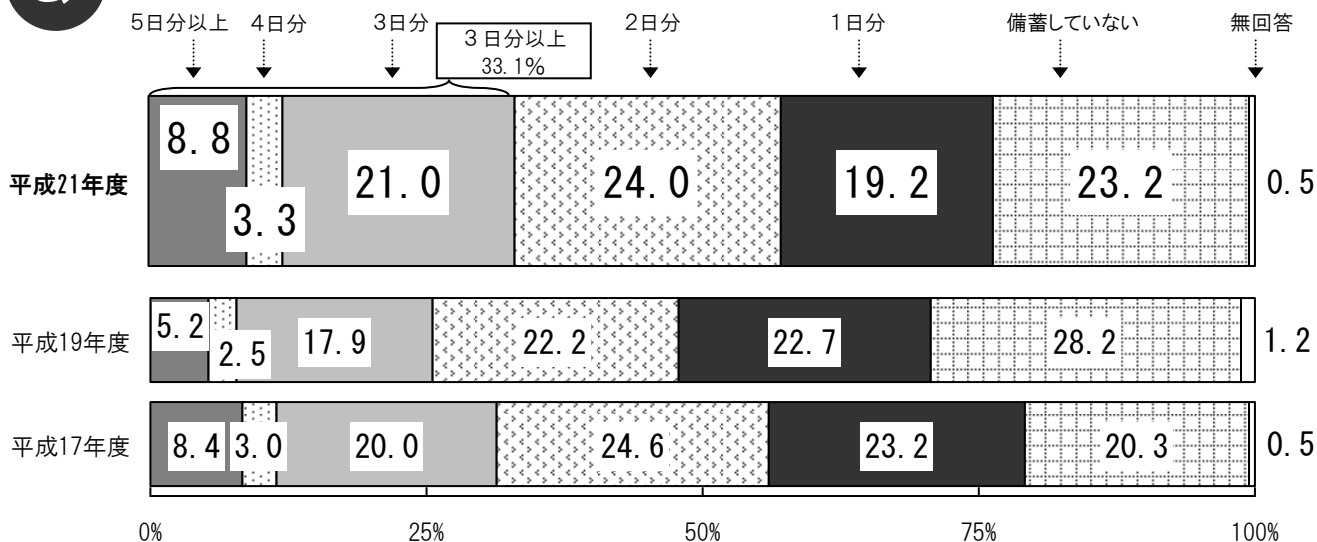


# 行政も、食料や飲料水をすぐには供給できません。 家庭での備えが必要です。

**Q** 災害にあったときの非常持出し用として何日分の食料を用意していますか。



**Q** 何日分の飲料水を備蓄していますか。



## 食料の備蓄

非常食で最低

**3日分**

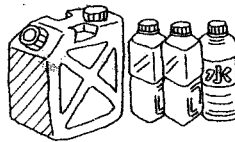
備えて  
おきたいのは  
**7日分**



- 普段から調理不要の非常食3日分を含む7日分程度の食料を準備しておく。
- 食料の点検、入れ替えを忘れずに。

## 飲料水の備蓄

1人1日3ℓ  
**3日分**  
(9ℓ)



- 1人1日3ℓの水を最低3日分用意する。
- 市販のペットボトル入りの飲料水でもよい。定期的に使用し、順次買い替えていく。

東海地震が発生した場合、食料や飲料水の供給活動が開始されるまでに、3日間程度必要となります。

日持ちのよい食品を備蓄し、  
定期的に交換しましょう。

- 主食** 米・カンパン・インスタント食品など
- 副食** 漬け物・梅干し・佃煮・缶詰など
- 調味料** 味噌・しょう油など

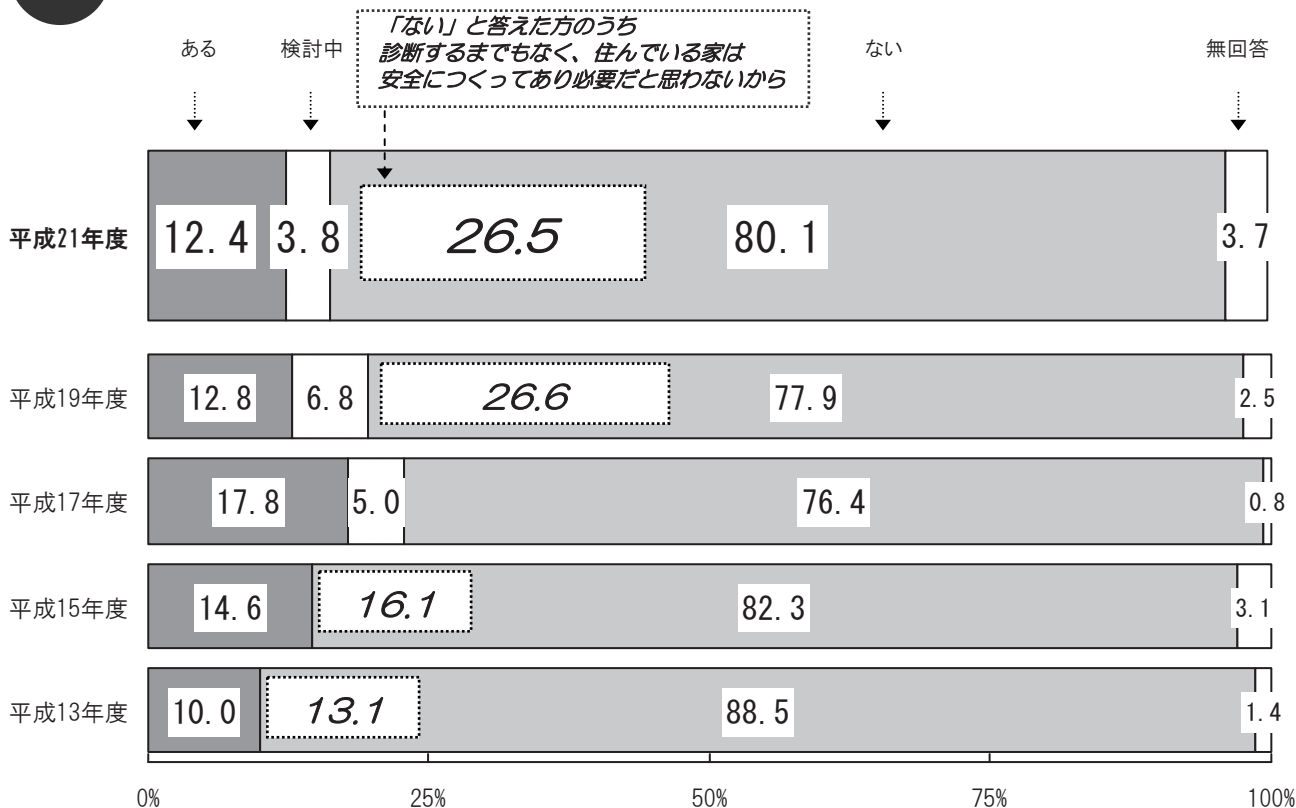
生活水の確保として・・・

- いつも風呂に水をためておきましょう。
- 水洗トイレのタンク内の水も活用しましょう。

# 阪神・淡路大震災の死者の 約8割は家屋の倒壊等による圧死でした。 自宅の耐震診断を行い、安全性を確認してください。



耐震診断をしたことがありますか。



※ 「検討中」の項目は、平成17年度から設定した。

※ 耐震診断していない理由（「診断するまでもなく、住んでいる家は安全につくってあり必要だと思わないから」）について、平成17年度は未調査。

阪神・淡路大震災では、昭和56年5月以前に建築された旧耐震基準の木造住宅に大きな被害が出ました。地震で大切な命を失わないためには、地震で倒壊しない住宅にする必要があります。

そのため、静岡県では市町と連携して、木造住宅の耐震化を促進するプロジェクト「TOUKAI（東海・倒壊）-0（ゼロ）」を推進しており、建築士などの専門家による耐震診断・補強相談を無料で受けることができるほか、耐震補強工事費の助成なども行っています。

## 耐震補強工事には 補助金が出ます。

専門家による耐震診断により、「倒壊する可能性が高い」、「倒壊する可能性がある」と判定された旧耐震基準の木造住宅を耐震補強工事する場合には、県及び市町から補助金が出ます。



（平成19年 新潟県中越沖地震の被害）

詳しくは各市町の建築指導担当課  
又は県建築安全推進室（054-221-3320）までお問い合わせください。

# 耐震診断・補強工事の相談は お住まいの市町担当窓口へ

(窓口一覧)

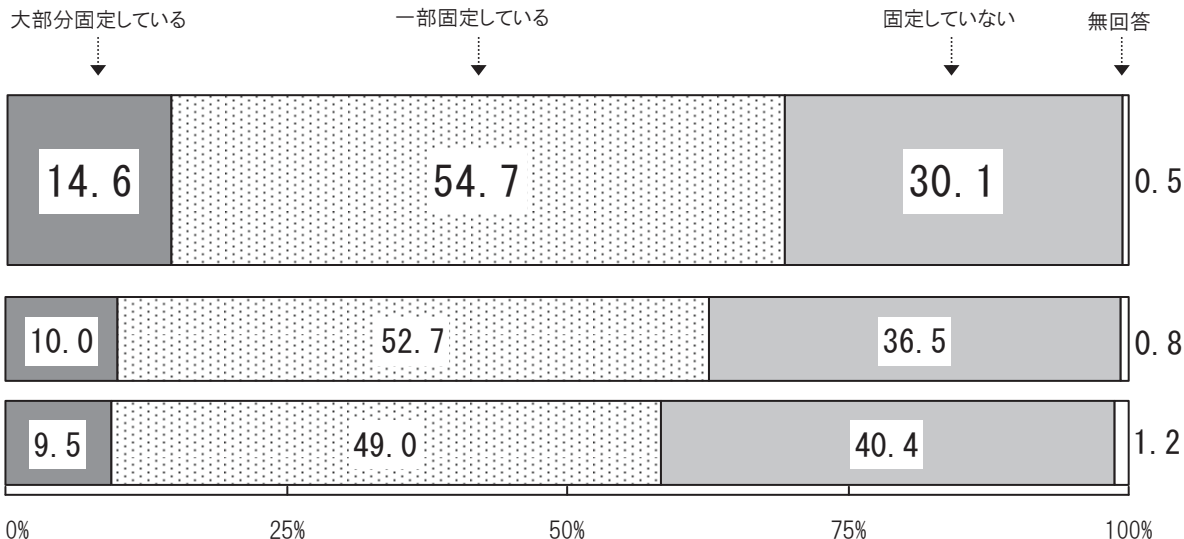
市町名	担当課	電話	市町名	担当課	電話
下田市	建設課	0558-22-2219	静岡市	建築指導課	054-221-1238
東伊豆町	建設産業課	0557-95-6303	島田市	建築課	0547-36-7184
河津町	建設課	0558-34-1952	焼津市	建築指導課	054-626-2169
南伊豆町	建設課	0558-62-6277	藤枝市	建築住宅課	054-643-3481
松崎町	産業建設課	0558-42-3965	川根本町	建設課	0547-56-2227
西伊豆町	産業建設課	0558-52-1115	御前崎市	都市計画課	0537-85-1123
熱海市	建築住宅課	0557-86-6425	牧之原市	都市整備課	0548-53-2633
伊東市	建築課	0557-32-1763	吉田町	都市建設課	0548-33-2161
沼津市	建築指導課	055-934-4759	磐田市	建築住宅課	0538-37-4899
三島市	建築指導課	055-983-2644	掛川市	建築住宅課	0537-21-1152
御殿場市	建築住宅課	0550-82-4224	袋井市	防災課	0538-44-3108
裾野市	建築住宅室	055-995-1856	菊川市	都市計画課	0537-35-0932
伊豆市	総務課	0558-72-9867	森町	建設課	0538-85-6321
伊豆の国市	安全対策課	055-948-1412	浜松市	建築行政課	053-457-2471
函南町	都市計画課	055-979-8117	湖西市	都市住宅課	053-576-4549
清水町	安全安心課	055-981-8205	新居町	都市整備課	053-594-8112
長泉町	建設計画課	055-989-5521	<p>(平成22年1月現在)</p> 		
小山町	都市整備課	0550-76-6105			
富士宮市	建築指導課	0544-22-1229			
富士市	建築指導課	0545-55-2903			
芝川町	産業課	0544-65-2806			

(平成19年 新潟県中越沖地震の被害)

# 地震発生時に転倒・落下する家具や家電製品は 非常に危険な凶器となります。 自宅の家具類の固定は急務です。



地震に備えて家具類の固定をしていますか。



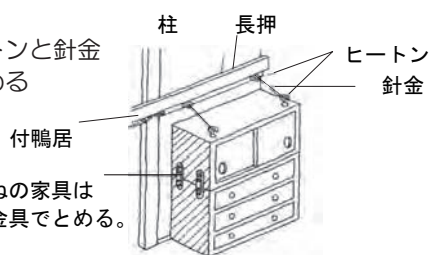
## 確認しましょう

- ・重い家具は寝室に置かない。
- ・重い荷物は高いところに置かない。
- ・家具の配置を考えて安全なスペースを確保。

## 家具類の固定方法（例）

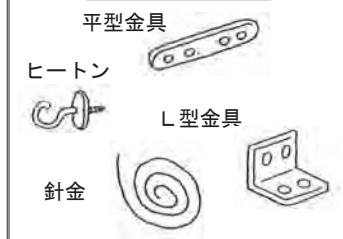
背の高い家具は、鴨居に針金やL型金具でとめる

- ヒートンと針金でとめる



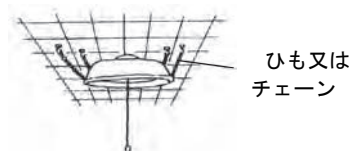
2段重ねの家具は上下を金具でとめる。

用意するもの

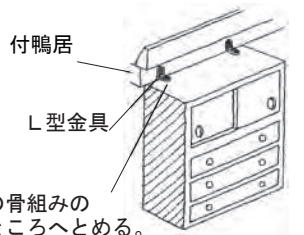


- つり下げ型照明器具のとめかた

器具の4すみをひも又はチェーンでとめて器具が天井にふれないようにする。



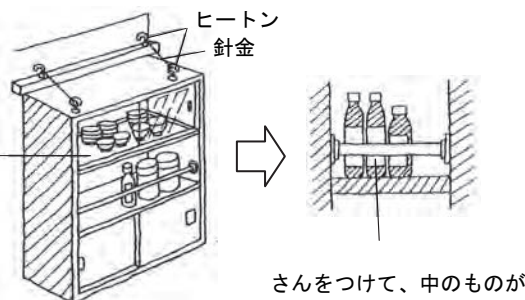
- L字金具でとめる



タンスの骨組みの丈夫なところへとめる。

- 食器戸棚のとめかた

やわらかい敷物を敷いて中のものがすべり出さないようにする。

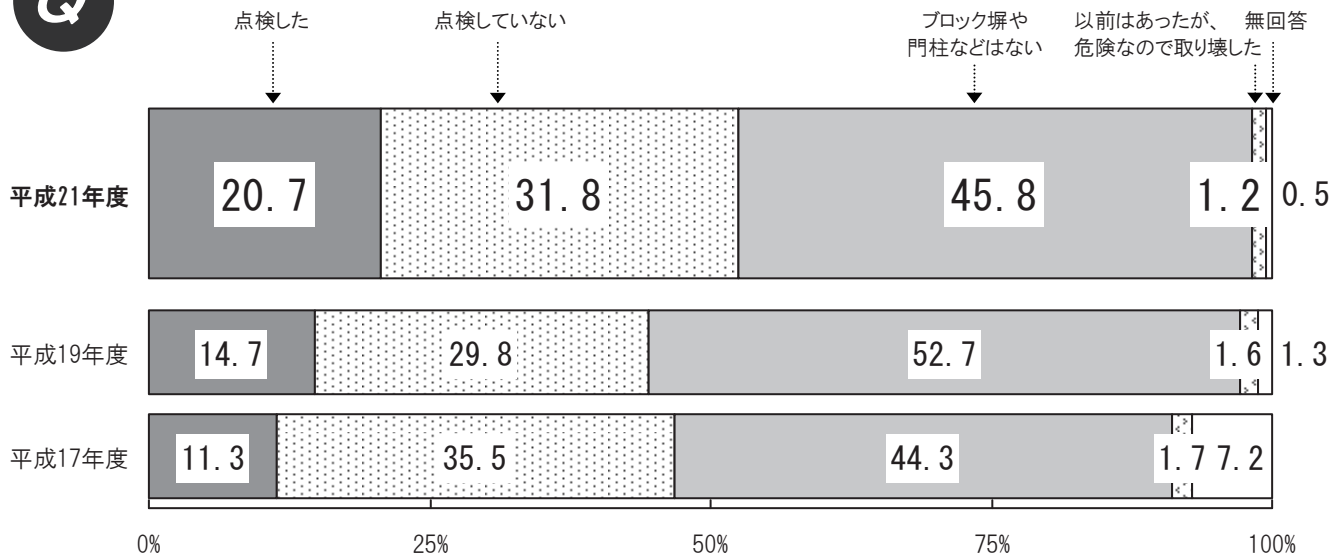


壁に金具やヒートンを取り付ける場合には、間柱などの下地があるところをみつけて取り付けましょう。

# 石塀・ブロック塀が倒壊すると通行人に被害をおよぼす可能性があります。必ず点検してください。



ブロック塀や門柱などの安全性について点検していますか。



## ブロック塀の5点検

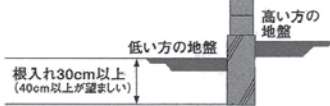
(以下の5項目について点検しましょう。)

### ① 基礎の根入れはあるか

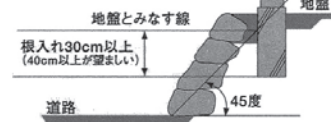
適・不適

コンクリートの基礎は、地盤から30cm以上根入れされている必要があります。まわりを掘って調べて下さい。  
(根入れは40cm以上が望ましい)  
(「根入れ」とは、基礎のうち土の中に入っている部分をいいます。)

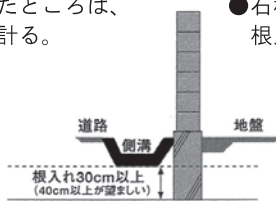
●地盤に差があるところは、低い方の地盤から計る。



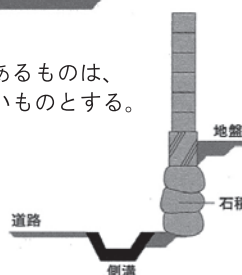
●石積の近くにある塀は、図のように計る。



●側溝に沿ったところは、側溝底から計る。



●石積の上にあるものは、根入れがないものとする。

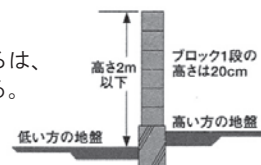


### ② 塀は高すぎないか

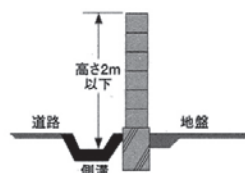
適・不適

塀の高さは、地盤から2m以下かどうか調べて下さい。

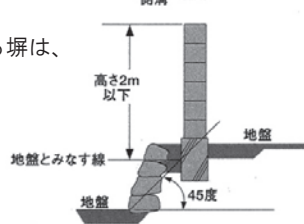
●地盤に差があるところは、低い方の地盤から計る。



●側溝に沿ったところは、側溝底から計る。



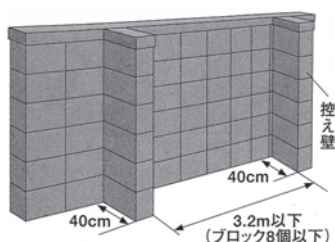
●石積の近くにある塀は、図のように計る。



### ③ 控え壁はあるか

適・不適

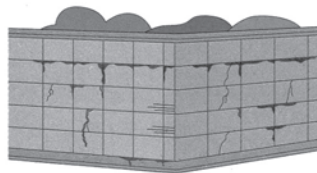
- ①控え壁は塀の長さ3.2m (ブロック8個) 以下ごとにあるか
- ②控え壁の長さは 40cm 以上あるか



### ④ 塀の傾き、ひび割れはないか

適・不適

塀が傾いたり、ひび割れていないか、また鉄筋が錆びていないか  
鉄筋の入っているところに沿ってブロックが茶色ににじんでいたたり、はじめていたら、中の鉄筋が錆びています。



### ⑤ 塀に鉄筋が入っているか

適・不適

- 直径9mmの鉄筋が次の①、②、③のように入っているか。  
この点検は、塀を造った施工者などと相談して行って下さい。
- ①鉄筋が、縦横とも80cm以下の間隔で入っているか。(縦筋は40cm間隔が望ましい。)
  - ②縦筋は、頂部の横筋、または、基礎の下側の横筋にかががけられているか。
  - ③控え壁の鉄筋も①②のように入っているか。

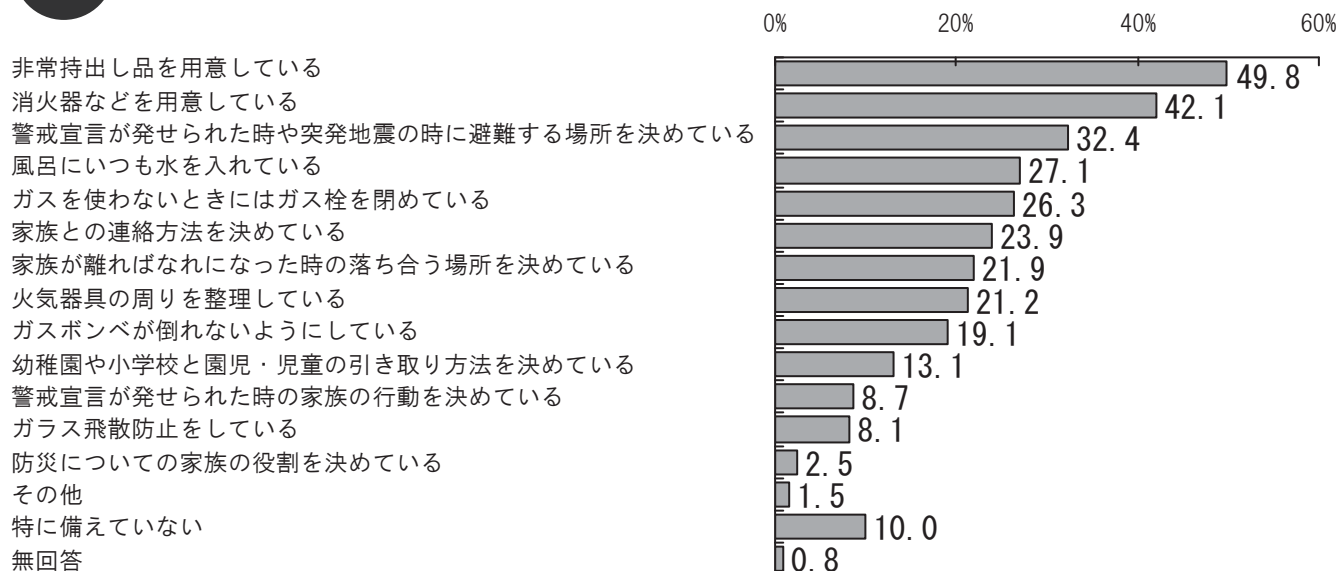
※ 点検結果に1つでも不適合があれば、そのブロック塀は危険性が大きく、改善する必要があります。  
※ 市町によって危険なブロック塀の撤去や改善に対し補助を受けることができます。



# 自宅から災害を発生させないために、 また、地震発生時にとまどわないように、 日ごろから防災対策を実施しておきましょう。



東海地震に備えてあなたのお宅で行っているものは何ですか。



発災時には、家族が別々の場所にいたり、社会状況も混乱することが予想されます。  
次の表を参考に、ぜひお宅の行動計画を作ってください。

## ★役割分担行動表

名 前	ふだんの日の昼間にいる可能性の高い場所	家族の集合場所	避難所
<input type="text"/>	<input type="text"/>		
<input type="text"/>	<input type="text"/>		
<input type="text"/>	<input type="text"/>		
<input type="text"/>	<input type="text"/>		
<input type="text"/>	<input type="text"/>		
<input type="text"/>	<input type="text"/>		
<input type="text"/>	<input type="text"/>		

## ★家族の役割

内 容	名 前
ラジオ・テレビで情報を確認する	<input type="text"/>
火を消す	<input type="text"/>
ガスの元栓、プロパンガスボンベのバルブを締める	<input type="text"/>
危険物を安全なところに移す	<input type="text"/>
電気器具のコンセントを抜く	<input type="text"/>
棚の上から物をおろす	<input type="text"/>
家具など倒れないようにする	<input type="text"/>
窓ガラスなどにガムテープをはる	<input type="text"/>
すぐに戻ってこれない家族への伝言があれば書いておく	<input type="text"/>
消火器・バケツを用意する	<input type="text"/>
飲料水を確保する	<input type="text"/>
非常持出し品の確認をする	<input type="text"/>
出入口を確保する	<input type="text"/>
子供や高齢者の世話をする	<input type="text"/>

### ●行動表の使い方（例）

お父さんは会社から△△市  
○○小学校へ避難します。

お母さんは自宅から私と妹を  
迎えに行き、いったん自宅へ  
戻ってから××町○○公園へ  
避難します。

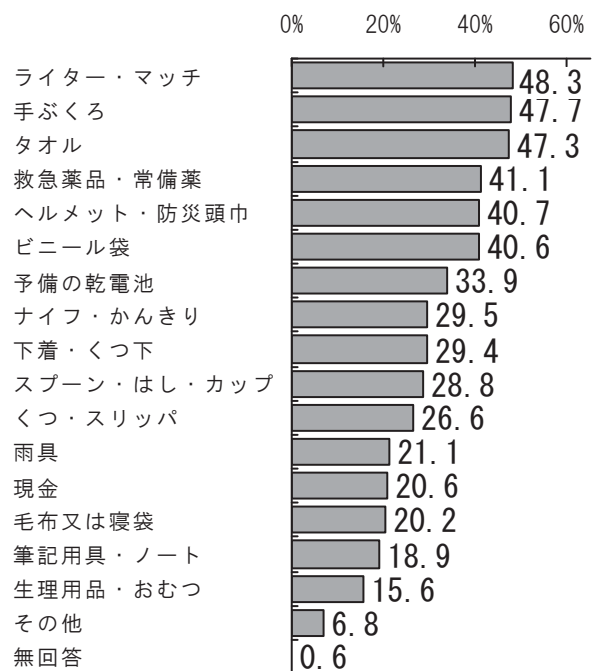
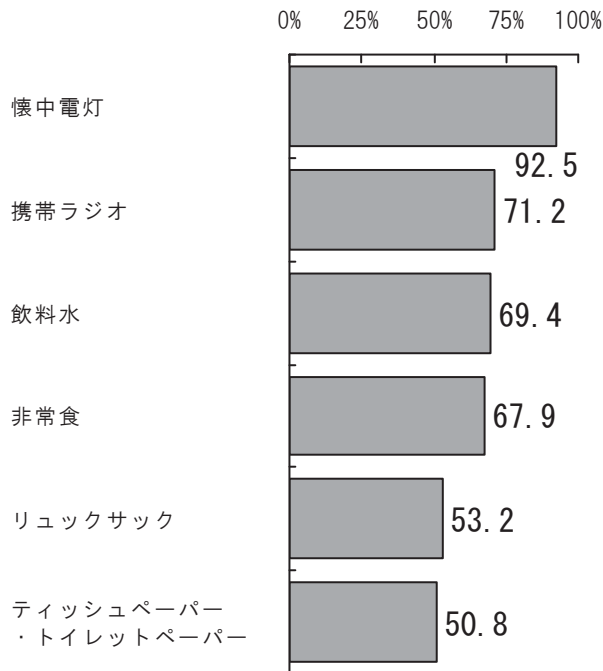
名 前	ふだんの日の昼間にいる可能性の高い場所	家族の集合場所	避難所
<input type="text"/>	<input type="text"/>		

# 地震発生後のことを考えて、当面の生活に必要な物資を非常持出し用として準備してください。

Q

非常持出し品として何を用意していますか。

◇ 半数以上の人準備しているもの ◇



## 点検しましょう

非常持出し品は、避難時にすぐに取り出せる場所に保管し、家族の人数に合わせて用意してください。当面暮らせるだけの食料・飲料水・日用品や貴重品等を準備しておきましょう。

### 屋外避難も想定して テントやビニールシートも！

日ごろ服用している薬やかかりつけ医、介護支援員などを記載したのも非常持出し品の中に入れておきましょう。

#### ●赤ちゃんのいる家庭では

飲料水、ミルク、哺乳瓶、離乳食、スプーン、着替え、オムツ、清浄綿、おぶい紐、タオル（バスタオル）、ベビー毛布などを用意しましょう。

#### ●要介護者のいる家庭では

着替え、オムツ、ティッシュペーパー、ガーゼ、補助具の予備などを用意しましょう。

### 非常持出し品の例



※このほか、履物(くつ、スリッパ等)もお忘れなく！

家族構成などを考えて、必要なものを用意しましょう。また、定期的を確認することも大切です。

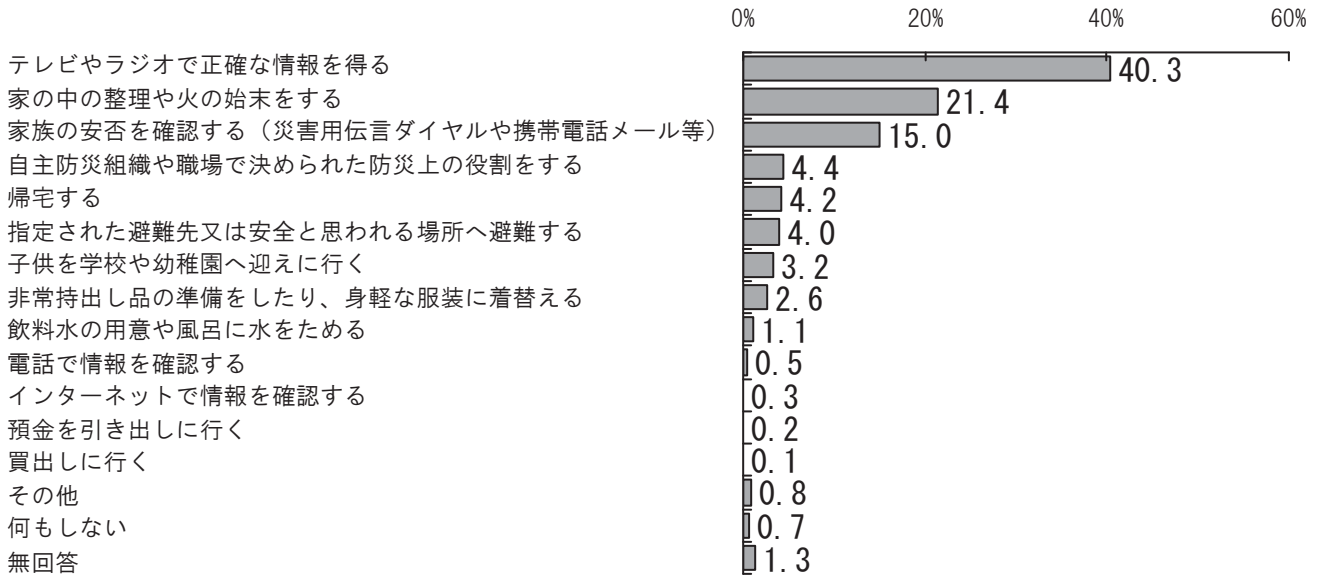
# 突然強い揺れを感じる大地震が発生した場合、

① まず身の安全をはかりましょう。

② 揺れがおさまったら火の元を確認してください。



突然地震が起こった場合、あなたは最初に何をしますか。



## 突然地震が起きたら？

取るべき行動

日ごろからの備え

### ①地震発生！まず落ち着いて身の安全を

#### ◆身を守れ

- ・丈夫な机やテーブルなどの下に身を隠しましょう。
- ・座布団などが身近にあれば、頭部を保護しましょう。

#### ◆とっさの判断

- ・揺れを感じたら、玄関などの扉を開けて脱出口を確保しましょう。

#### ◆あわてて外へ飛び出さな

- ・激しい揺れは1～2分続きます。あわてて外に飛び出したりせず、落ち着いて行動しましょう。

そのためには

- 自宅の耐震診断を実施し、必要ならば耐震補強を行いましょう。
- 家具類の固定やガラスの飛散防止などをしっかりと行いましょう。

## ②揺れがおさまった

### ◆火元を確認・火の始末

・火が出てあわてずに初期消火。

### ◆家族は無事か？

・万一倒壊した家に閉じ込められたら、大声を出したり、ナベやフライパンを叩くなどして、自分の居場所を知らせましょう。

### ◆危険予想地域では即避難

・津波や山・がけ崩れの危険が予想される地域では、一刻も早く安全な場所に避難しましょう。

そのためには

- 消火器や水を入れたバケツを常備しておきましょう。
- 危険予想地域内かどうかを調べておきましょう。
- 避難地までの避難経路を確認しておきましょう。

## ③みんなは無事か？

### ◆近くに火の手は？

・みんなで協力して消火活動。  
・火の手が大きくなったら、消防署に連絡しましょう。

### ◆余震に注意

・大地震の後には余震が発生します。家屋の倒壊や落下物などには注意しましょう。  
・傾いた家には入らないようにしましょう。

そのためには

- 日ごろから自主防災活動に参加しましょう。
- 防災訓練で消火方法を学んでおきましょう。
- 自主防災倉庫がある場所や防災資機材の使い方を確認しておきましょう。

## ④正しい情報の入手を

### ◆デマに注意

・ラジオをつけましょう。  
・市町や自主防災組織などからの正しい情報を確認しましょう。

### ◆電話はなるべく使わない

・消防関係の緊急連絡を優先させましょう。

そのためには

- 安否の確認は災害用伝言ダイヤル「171」を活用しましょう。

## ⑤みんなで救出救助・応急救護

・自主防災組織や隣近所では、倒壊した家屋からの救出救助に協力しましょう。  
・救出が難しい場合は警察署や消防署に連絡しましょう。  
・軽いケガは自分で処置しましょう。  
・医療機関での処置が必要なケガは、市町が定める最寄の救護所へ。ケガ人の搬送もみんなで協力しましょう。

そのためには

- 防災訓練などで応急救護の方法を覚えておきましょう。
- どこが救護所になるのか、地域の防災マップなどで確認しておきましょう。

## ⑥自宅が危険・倒壊、避難所へ

・自宅を離れるときには、ガス栓を閉め、電気のブレーカーを切りましょう。  
・家族の安否や行き先などがわかるように伝言メモを玄関などに残しましょう。  
・子供の迎えはあらかじめ決められた方法で。  
・ブロック塀の倒壊、自動販売機の転倒、看板やガラスの落下などに注意しましょう。

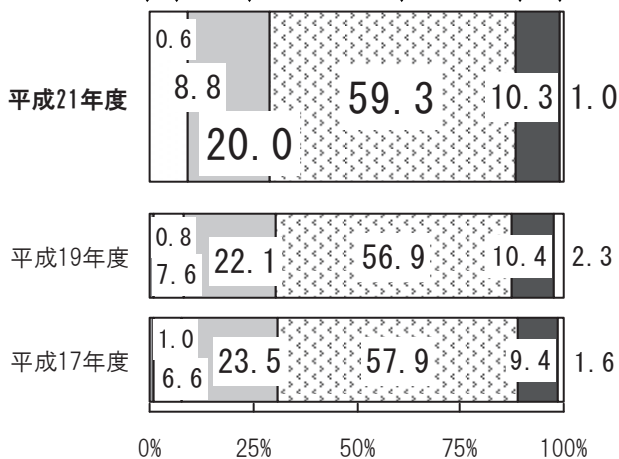
そのためには

- 各家庭で緊急時の行動を確認しておきましょう。
- 避難所までの避難経路を確認しておきましょう。

# 東海地震が予知できた場合、予知に関連する情報は、発生危険度に応じて3段階で発表されます。

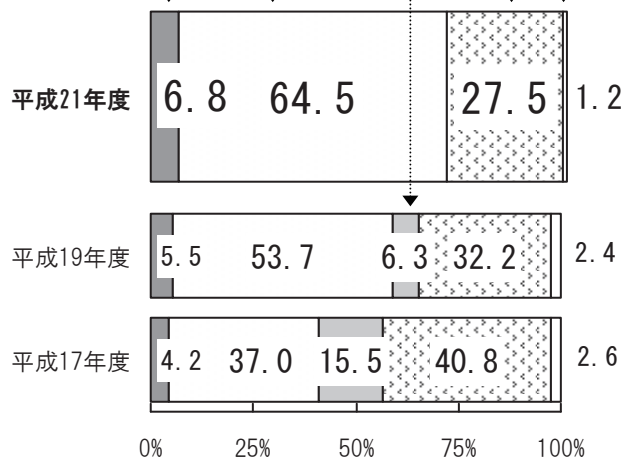
## Q あなたは、現時点で東海地震は予知できると思いますか。

完全に予知できると思う 8割以上の確率で予知できると思う 5割くらいの確率で予知できると思う 全くできないとは思わないが、予知は難しいと思う 予知はできないと思う 無回答



## Q 東海地震に関連する情報をご存知ですか。

情報の詳しい内容まで知っている 情報名は知っているが内容までは知らない 名前も内容も知らないが、改正があったことは知っている 全く知らなかった 無回答



### 東海地震観測情報

観測された現象が東海地震の前兆現象であると直ちに判断できない場合や、前兆現象とは関係がないことがわかった場合に発表される情報。

●家庭では…  
地元のテレビ、ラジオなどの情報に注意し、平常どおり生活しよう。



### 東海地震注意情報

観測された現象が前兆現象である可能性が高まった場合に発表される情報。

●家庭では…  
地元のテレビ、ラジオなどの情報に注意し、念のため家の中や非常持出品の再点検をしよう。



### 東海地震予知情報

東海地震の発生のおそれがあると判断した場合に発表される情報。

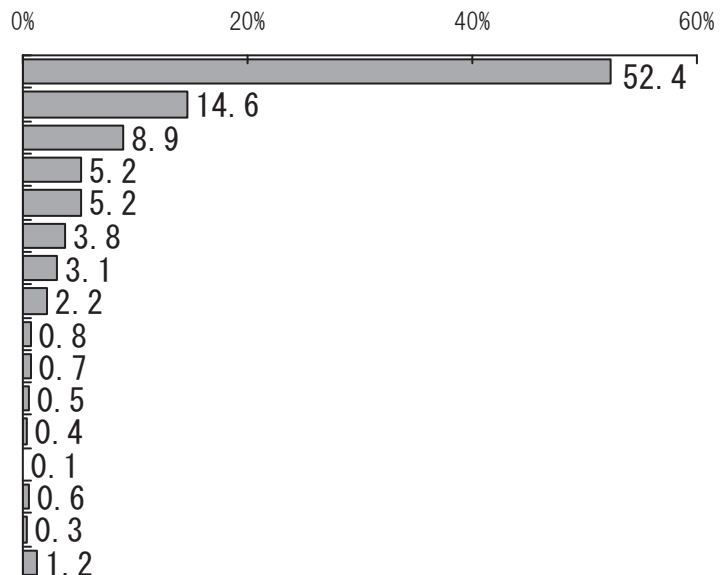
●家庭では…  
地元のテレビ、ラジオなどの情報に注意するとともに、東海地震の発生に十分警戒しよう。津波や山・がけ崩れの危険予想内であれば、すみやかに指定避難地に避難しよう。

警戒宣言

※ 東海地震は必ず予知できるわけではありません。  
いつ地震が発生しても対応できるよう、日ごろから十分な備えを!!

## Q 警戒宣言が発せられたとき、あなたは最初に何をしますか。

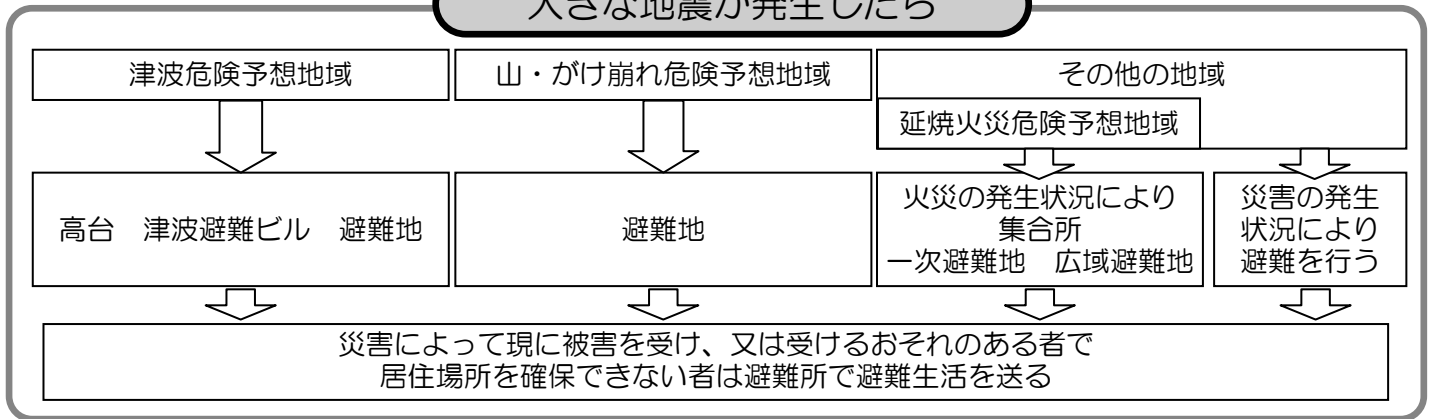
- テレビやラジオで正確な情報を得る
- 家の中の整理や火の始末をする
- 家族と電話で連絡をとる
- 非常持出し品の準備をしたり、身軽な服装に着替える
- 帰宅する
- 自主防災組織や職場で決められた防災上の役割をする
- 子供を学校や幼稚園へ迎えに行く
- 指定された避難先又は安全と思われる場所へ避難する
- インターネットで情報を確認する
- 飲料水の用意や風呂に水をためる
- 買出しに行く
- 電話で情報を確認する
- 預金を引き出しに行く
- その他
- 何もしない
- 無回答



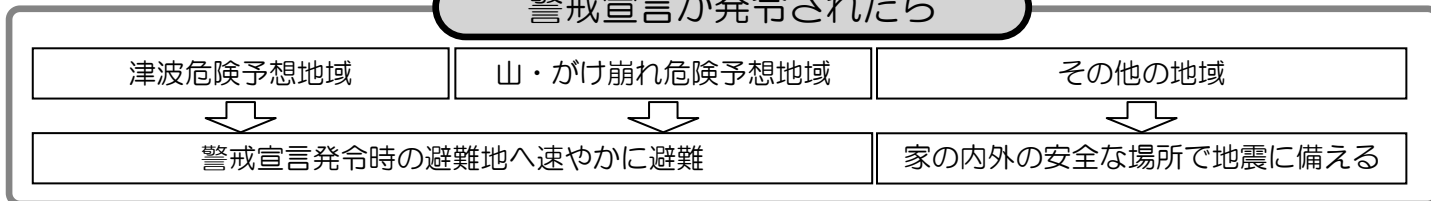


# 突然大きな地震が発生したら、警戒宣言が発令されたら、あなたの避難先は？

## 大きな地震が発生したら



## 警戒宣言が発令されたら



避難地＝津波や山・がけ崩れの危険予想地域の住民等の避難のために市町が指定した避難場所  
 集合所＝火災時の一時的避難や一次避難地へ移動するときの集合場所  
 一次避難地＝火災時に広域避難地に到達するまでの中継拠点  
 広域避難地＝火災拡大時の最終避難場所

## 警戒宣言が発令されると・・・公共交通機関・ライフラインの状況

### 東海地震観測情報発表時

平常どおり利用（使用）可能

### 東海地震注意情報発表時

平常どおり利用（使用）可能

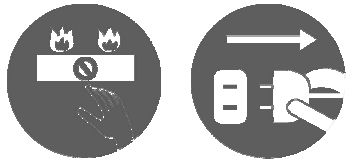
電話：利用者の急増等により輻輳（ふくそう）等が生じた場合は、必要に応じ一般通話を制限する。

鉄道：長距離夜行列車及び貨物列車は強化地域内へ進入しない。

### 東海地震予知情報発表（警戒宣言発令）時

電気・ガス：使用可能

（できるだけ使わない。）



水道：使用可能

（普段から水をためておく。）



電話：必要に応じ一般通話

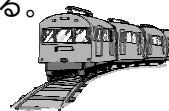
制限。ただし、緑色、オレンジ色及びグレーの公衆電話からの通話は確保される。



バス：付近の安全なところまで走行し、運行を中止する。



鉄道：最寄りの駅等付近の安全なところまで走行し、運転を中止する。



道路：緊急輸送路・避難路を確保するため交通規制がされる。車は徐行運転。



### 第3次地震被害想定によるライフラインの復旧想定

電気：発災直後には約34%が停電、系統の切替により通電範囲が拡大、応急復旧に約6～12日

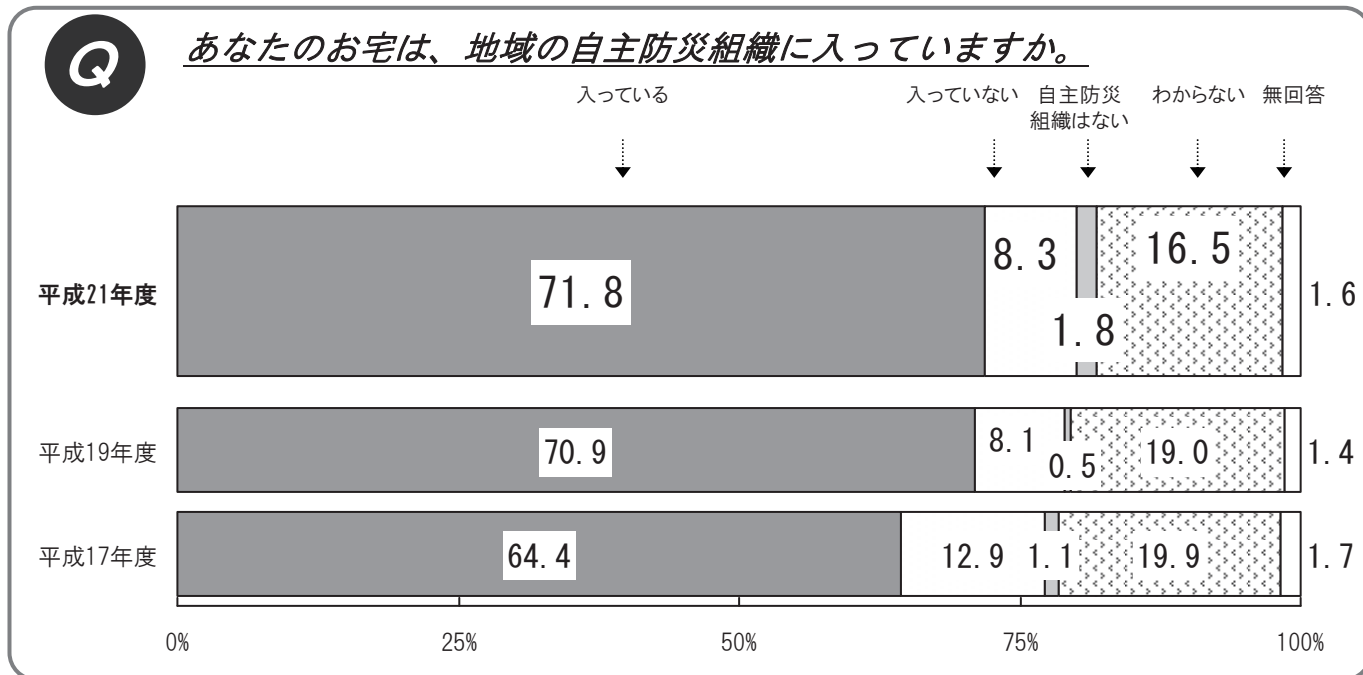
ガス：全域で供給停止、応急復旧に約30日

上水道：発災直後には9割が断水、2日後には7割が断水、応急復旧に約30日

下水道：排水困難な地域が多発、応急復旧に約30日

電話：発災直後には被害発生と輻輳（ふくそう）により一般電話は使用不能、応急復旧に約12日

# 誰もが自主防災組織の一員であることを自覚してください。 防災対策をすすめるためには、 地域内での連携が大切です。

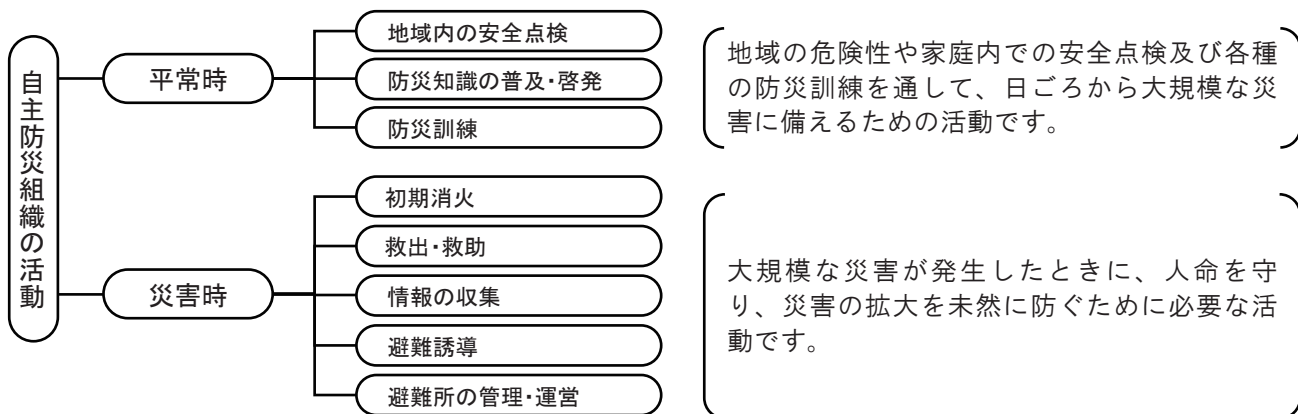


**自らの命は自ら守る。自らの地域は皆で守る。県民一人ひとりが自主防災組織のメンバーです。**

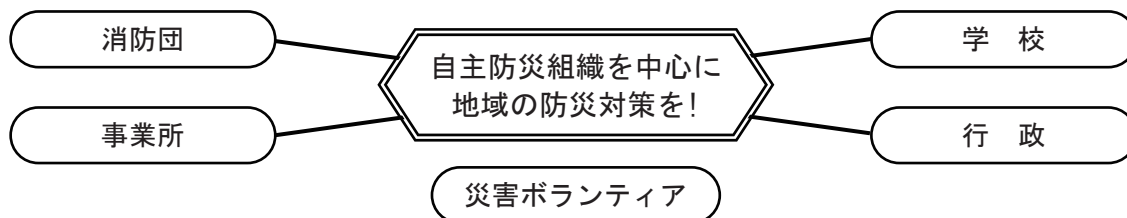
予想される東海地震から自分や家族を守るためには、地震に備えて普段から十分な準備をしておくことが大切です。

しかし、大きな災害に立ち向かうときには、個人や家族の力には限界があり、危険や困難を伴う場合があります。

このような時、毎日顔を合わせている隣近所の人たちが集まって、災害の拡大防止のために協力し、助け合う組織があれば、きっと役立つでしょう。これが**自主防災組織**です。



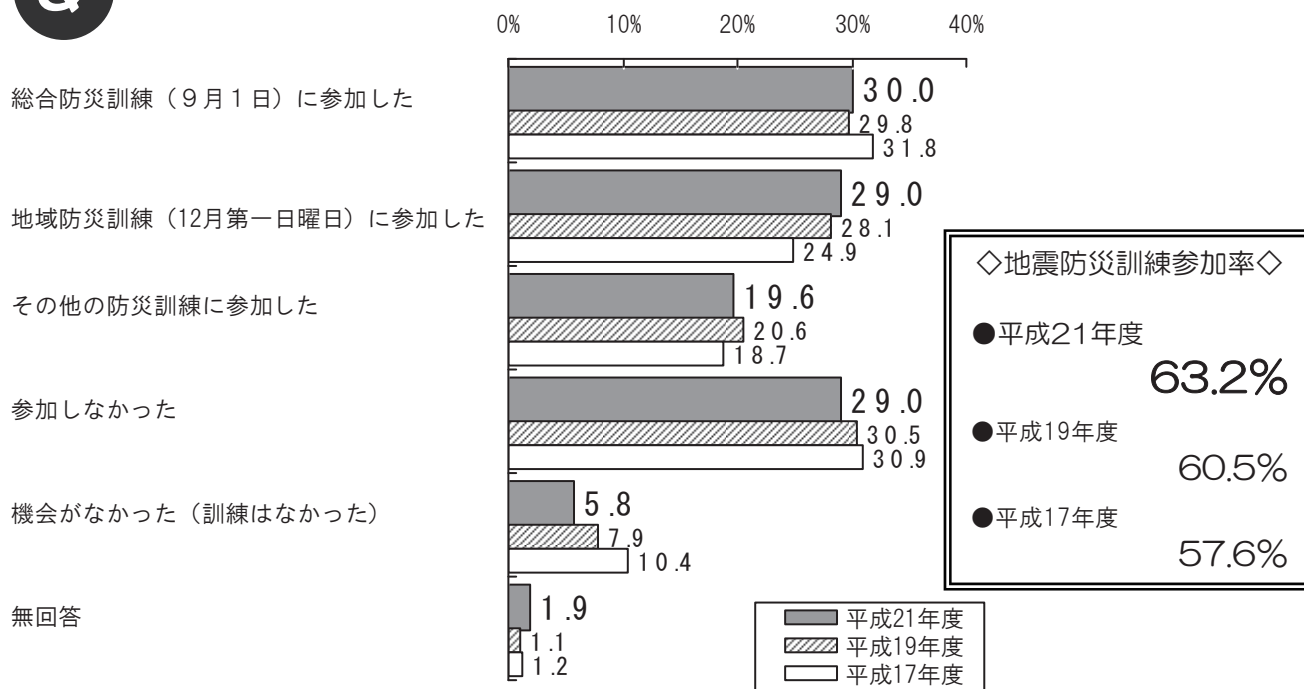
地域には防災に携わる様々な人たちがいます。いざという時には、お互いが協力し合い、一丸となって防災活動に取り組みましょう。



# 隣近所で声を掛け合い、9月1日の総合防災訓練、12月の地域防災訓練に皆で参加しましょう。



過去1年間に、地域や職場の地震防災訓練に参加したことがありますか。



## ◆ 総合防災訓練（9月1日）（防災の日）

**想定：東海地震の発生が予知されたことを想定**

国・県・市町・各防災関係機関・自主防災組織が協力して実施します。警戒宣言の発令時や発災時に、各家庭や地域の自主防災組織が計画している対策を行い、防災活動を身につけることを目標とします。

## ◆ 地域防災訓練（12月の第1日曜日）（地域防災の日）

**想定：突然東海地震クラスの大地震が発生したことを想定**

各市町単位で、自主防災組織を中心に地震発生後の避難、消火、救護など一連の対応訓練を行います。

それぞれの地域の特性を生かした訓練を実施し、防災活動を身につけることを目標とします。

## ◆ 津波避難訓練（津波対策推進旬間（7月1日～10日）中で定めた日）

**想定：突然地震が発生し、津波警報が発令されたことを想定**

県・沿岸の市町、各防災関係機関、自主防災組織が協力して実施します。住民に対する情報伝達、観光客等海浜利用者への避難指示、遭難者救助訓練、防潮水門閉鎖訓練等を実施し、防災活動を身につけることを目標とします。

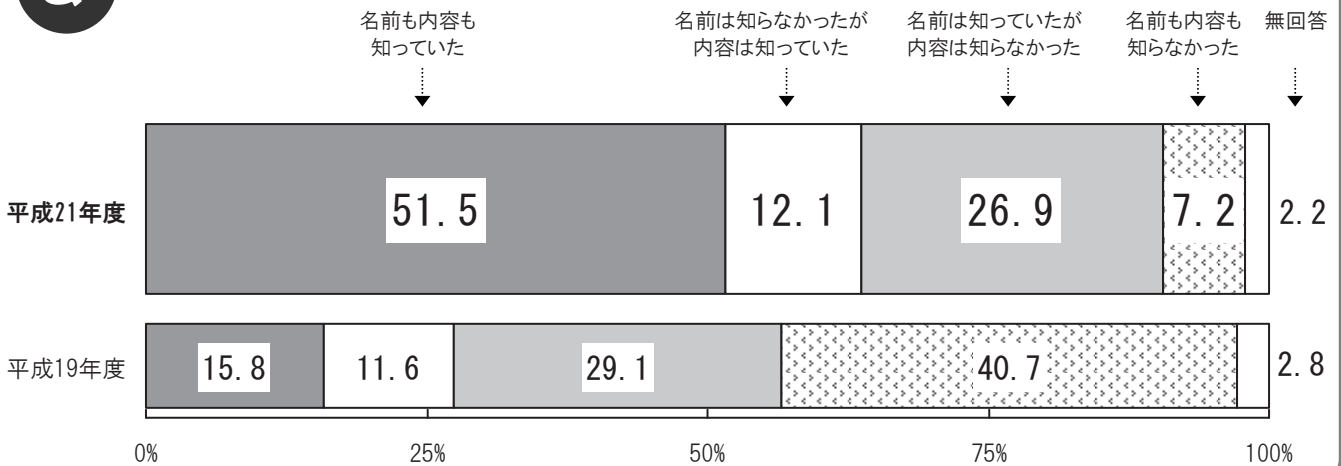
## ◆ 個別訓練

各自主防災組織において情報の収集伝達・救出救助・初期消火など、個々の訓練を行い、それぞれの行動を身につけることを目標とします。

# 緊急地震速報についてご存知ですか。



あなたは、緊急地震速報について知っていましたか。



## 緊急地震速報とは・・・

地震が発生したときに、震源近くで地震をキャッチし、地震による強い揺れが始まる数秒～数十秒前に強い揺れがくることをすばやくお知らせするもので、平成19年10月1日から一般提供が開始されました。

※ただし、震源に近い地域では、「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わない場合があります。

### ☑家庭では

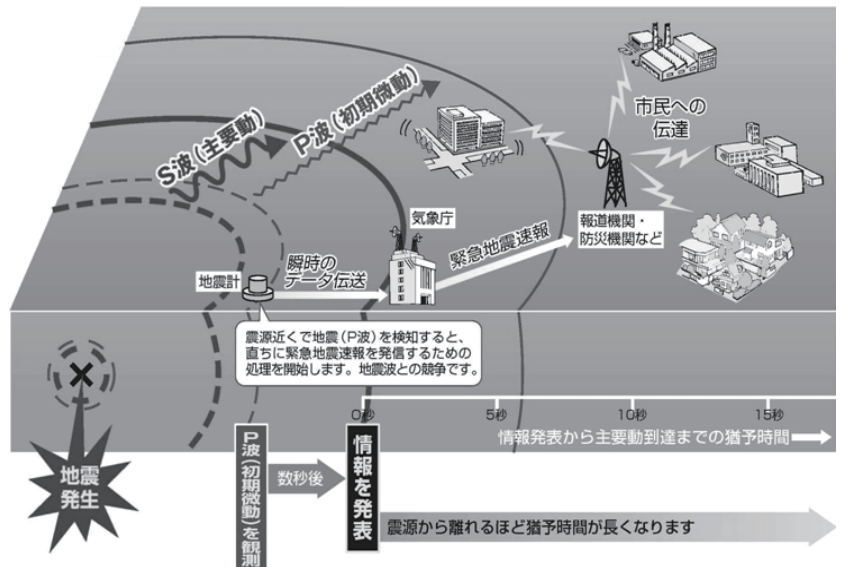
- ・頭を保護して丈夫な机の下などに隠れる。
- ・あわてて外へ飛びださない。

### ☑自動車運転中は

- ・あわててブレーキをかけない。
- ・ハザードランプを点灯し、揺れを感じたらゆっくり停止。

### ☑人がおおぜいいる施設では

- ・係員の指示に従う。落ちついて行動。あわてて出口に走り出さない。



**「利用の心得」**  
**周囲の状況に応じてあわてずに**  
**まず身の安全を確保する！**

# 平成21年8月11日駿河湾を震源とする地震

平成21年8月11日5時7分、駿河湾の深さ23kmでマグニチュード6.5の地震が発生し、県内では伊豆市、焼津市、牧之原市、御前崎市で震度6弱、東伊豆町、松崎町、西伊豆町、伊豆の国市、富士宮市、静岡市、袋井市で震度5強を観測しました。

静岡県では5時30分に災害対策本部を設置、8時00分に第1回対策会議を開催しました。

また、地震防災強化地域判定会委員打合せ会が開催され、想定される東海地震との関連性が検討されましたが、今回の地震は想定される東海地震に結びつくものではないと判断されました。



(電化製品等が落下した室内(静岡市葵区))

## 被害状況

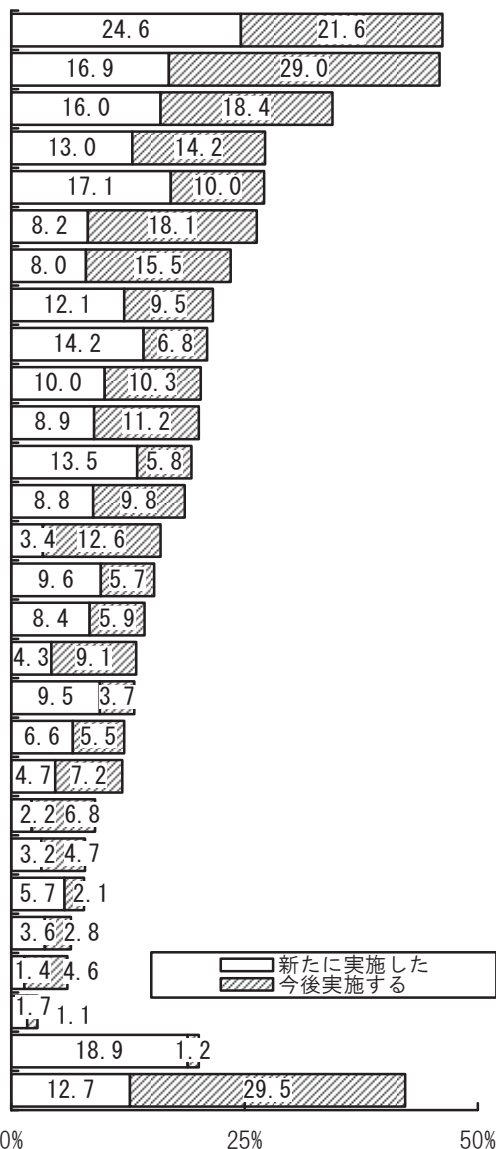
この地震による人的被害は死者1名、重傷者18名、軽傷者293名でした(11月24日15:00現在)。落下物や転倒物など家具固定や落下物対策の不備による怪我が42.9%で、地震に驚いて慌てて行動したことによる怪我が31.4%と全体の7割以上を占めました。また、年齢別では高齢者の怪我が42.6%でした。

建物被害は、住家被害が半壊5棟、一部損壊8,392棟、非住家被害が312棟でした。



**今回の地震を経験した直後に、防災対策に対する準備や行動で新たに実施したことがありますか。また、今後あらためて実施しようと考えていることがありますか。**

- 食料・飲料水を備蓄した
- 非常持出し品を用意した
- 家具が倒れないように固定した
- 割れたガラスから保護するためにスリッパ、運動靴などを用意した
- 棚の上の重いものをおろした
- 家族が離ればなれになったとき落ち合う場所を決めた
- 家族との連絡方法を決めた
- 風呂にいつも水を入れるようにした
- ガスを使わないときには元栓を締めるようにした
- 家の中で「とっさ」に逃げる場所を決めた
- 防災訓練に積極的に参加しようと考えている
- 火気器具のまわりを整理するようにした
- 地震の時に避難する場所を決めた
- ガラス飛散防止をした
- 家具を何も置いていない部屋を寝室にした
- 消火器や水を入れたバケツなどを用意するようにした
- 防災についての家族の役割を話しあった
- 石油ストーブは、耐震自動消火装置付きのものを使用しようと考えている
- 寝室の家具を移した
- 自宅や勤め先付近の安全な避難路を確認した
- 耐震診断を実施した
- ブロック塀の点検や転倒防止を施した
- プロパンガスボンベが倒れないようにした
- 幼稚園、小学校の児童の引き取り方法を決めた
- 耐震補強を実施した
- その他
- 特に何もしていない
- 無回答





富国有徳の理想郷—しずおか



Shizuoka Prefecture

静岡県危機管理局危機情報室

電話 054-221-2644

危機情報室メールアドレス

[boujou@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:boujou@pref.shizuoka.lg.jp)

危機管理局ホームページアドレス

<http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/>

紙ヘリサイクル可

この印刷物は3,000部作成しています。